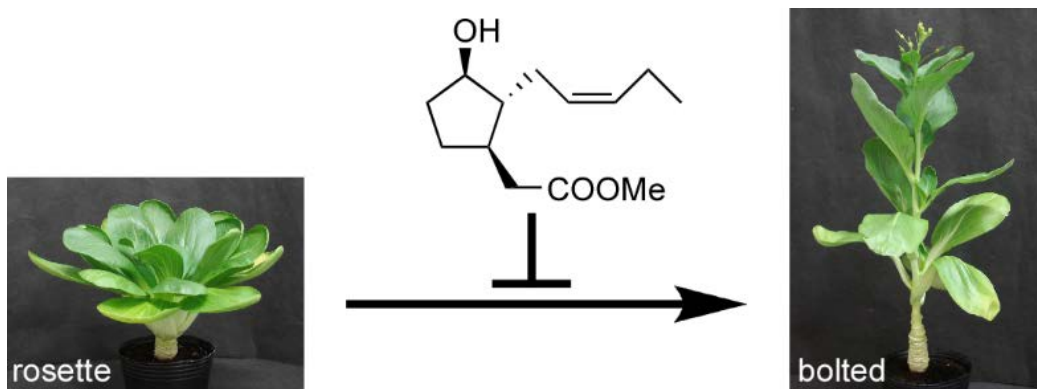


1. 担当教員：高田 晃（連絡先：農学生命科学部総務まで）
2. タイトル：ジャスモン酸ライブラリーの開発と活性評価
3. 概要：植物ホルモンの一種であるジャスモン酸は傷害応答、老化、蒴の成熟、塊茎形成など多岐にわたる生理活性を示す。このため、ジャスモン酸それ自体を農薬として散布すると副作用が発生してしまう。そこで、本研究ではジャスモン酸の多様な類縁化合物を合成し、その生理活性を調べることで、農薬としての機能を保持しつつ、副作用を抑えた生育調節剤の開発を目指します。なお、開発したジャスモン酸誘導体の提供も積極的に進めたいと考えています。
4. 参考資料



ジャスモン酸による生育調節（茎の伸長抑制）